

令和7年度第2回高知県多文化共生推進会議における各委員からの意見と対応の方向性について

資料1

1. プラン構成に対する意見

項目	委員名	内容	対応	担当課
プランへの記載	中川委員	高知県における多文化共生の定義をプランの中に明示してほしい。	<p>具体的には、以下の取組を踏まえた定義をプランに明示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の違いを尊重し、互いに理解し合う関係を築くこと ・国籍に関わらず、誰もが安心して暮らせる地域の実現 ・誰もが地域社会の一員として活躍できる環境づくり 	国際交流課

2. プランの柱ごとの意見

(1) 柱I 外国人材の受入促進

項目	委員名	内容	対応	担当課
プランの項目	北古味委員	高度人材については、受入れ前から技能実習等とは取組が全く異なると思うので、柱を別立てにして区別したほうが良い。	<p>柱I「外国人材の受入促進」では、原案のとおり、在留資格別に、現状や課題、今後の取り組みについて記載したいと考えています。(高度外国人材については、県内大学、県内専門学校、海外大学のターゲットごとに分けて記載することとしています。)</p> <p>なお、県内の留学生については、将来の高度外国人材として、在学中から県内就職に向けてアプローチしていく必要があるため、柱IV「地域社会との交流に根ざした留学生の地域への定着促進」において地域への愛着を持ってもらうための取り組みを実施していきます。</p>	<p>商工政策課 外国人材受入推進室 国際交流課</p>

(2) 柱Ⅱ コミュニケーション支援

項目	委員名	内容	対応	担当課
プランへの記載	市川委員	「登録日本語教員」制度に関して、現場で混乱等が生じない記載になるよう、文言を練ってほしい。	当該周知は現場で混乱が生じないようにします。	国際交流課
ウェルカムパッケージについて	市川委員	ウェルカムパッケージが作成して終わりとならないように、活用してもらえ工夫をして欲しい また、記録が書き込めるように、余白もたくさんあるとよい。 ウェルカムパッケージを外国人一人一人に届くよう、市町村の協力も得ながら届けてほしい。そのためにも県で市町村の担当課を把握することもお願いしたい。	ウェルカムパッケージの作成時に参考にさせていただきます。 また、作成したウェルカムパッケージは、全市町村に提供し、市町村ごとの実情に応じてバージョンアップして、活用していただきたいと考えています。	国際交流課
	吉川委員	毎年説明している住民税や国民健康保険料の払い方、年金、年末調整、扶養家族、労働保険の説明をウェルカムパッケージに盛り込んでもらいたい。	ウェルカムパッケージは、市町村で転入者への配布などで活用してもらうことを想定しており、住民として支払い義務が生じるもの、生活ルールや生活情報を盛り込むよう検討しています。	国際交流課
	キエル委員	やさしい日本語版のウェルカムパッケージも作ってほしい。	やさしい日本語版も作る予定にしています。	国際交流課
やさしい日本語の普及について	市川委員	やさしい日本語の普及は、学校や保育園を対象に最優先に行うべき。	教育委員会とも連携しながら、学校等でやさしい日本語の活用や、やさしい日本語をテーマとした県政出前講座等の周知も行っていきたいと考えています。	国際交流課
外国人県民の困りごとの情報発信について	市川委員	外国人県民がよく困っていることについて、情報発信する際は、一方的な発信にならないよう、発信の仕方や内容に気がついた方がよい。	外国人の相談を受けている高知県外国人生活相談センターからも意見をもらいながら、適正な情報を発信していきます。	国際交流課

項目	委員名	内容	対応	担当課
多言語対応について	廣瀬委員	やさしい日本語だけでは、対応が難しいので、入官庁の通訳支援事業などの活用を市町村にも広報していくと良い。	市町村への周知を行います。	国際交流課
プランへの記載	中川委員	具体的施策に、多言語通訳や電話通訳といった項目も必要。	ご指摘のとおり、柱Ⅱに記載します。	国際交流課
プランの項目	中川委員	相談体制については、統合元の「第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン」に外国人材が増えてきたので、体制強化という記載になっている。統合元のプランの内容との整合性も確認してほしい。	「第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン」の内容も確認しながら、策定していきます。	国際交流課

(3) 柱Ⅲ 外国人県民の生活支援

項目	委員名	内容	対応	担当課
日本語教育について	折田委員	小中学校課で今年度行った県内小中学校へのアンケート調査を来年度も行う場合は、実施時期も検討してもらいたい。(他国の学期の修了時期によって、外国籍の児童数が4月と9月で異なってくるため)	引き続き、次年度も実施予定です。実施時期は、9月を検討します。	小中学校課
	折田委員	日本語指導が必要な児童生徒の指導にあたっては、県が指導の道筋やカリキュラム、教材などを示して欲しい。	次年度、オンラインによる相談ネットワークの整備や日本語指導に関する研修を実施する予定です。	小中学校課
	折田委員	日本語の会話はできるが、読み書きが苦手な学習に参加できていない児童のケアも考えてもらいたい。	市町村教育委員会と連携を取りながら、県内外の対応事例について情報共有をしていきます。	小中学校課

項目	委員名	内容	対応	担当課
プランの項目	中川委員	柱Ⅱの「3 相談体制の充実」の「①外国人県民が相談しやすい窓口の運営」は、柱Ⅲが適当と思う。	ご指摘のとおり、柱Ⅲに記載します。	国際交流課

(4) 柱Ⅳ 意識の醸成と地域活性化の推進

項目	委員名	内容	対応	担当課
若い世代の多文化共生意識の醸成	山脇委員	マジョリティーへの多文化共生の意識醸成も必要。特に、小中学生の時から、多文化共生について学ぶ場があると良い。	教育委員会を通じて、学校に高知県国際交流協会の多文化共生講座を周知するなど、教育委員会とも連携しながら、取組を進めていきます。	国際交流課
多文化共生サポーターについて	キエル委員	サポーターの役割として大きいテーマを決めて、県内の学校や団体ともビジョンを作って、連携しながら活動できる仕組みがあると良い。	他県の先進事例や県の実情を踏まえて、ビジョンやサポーターの役割を明確にしていきます。	国際交流課
	池委員	サポーターに外国人の方も取り込んでいただいたら良いと思う。	外国人の方にもサポーターになっていただくことを検討しています。	国際交流課
各団体等への支援について	森岡委員	プランの実現に向けて活動する人や団体との連携も重要だと思うので、各活動への支援や連携、ネットワークの促進に対する取組の検討もお願いしたい。	多文化共生推進サポーターを検討する際の参考にさせていただきます。	国際交流課

(5) 柱Ⅴ 多文化共生施策の推進体制

項目	委員名	内容	対応	担当課
プランへの記載	古木委員	県の役割として、国との関係性や他自治体等の情報を収集し、発信していく役割を明記してもらいたい。県民や事業者、外国人の方に伝える司令塔が必要で、県がその役割にあたると思う。	柱Ⅴでプランに記載します。	国際交流課

項目	委員名	内容	対応	担当課
若い世代の多文化共生意識の醸成	山脇委員	国内あるいは地域社会の多文化共生を学ぶことを高校生に後押しして欲しい。	やさしい日本語に係る県政出前授業については、すでに県教育委員会を通じて各県立高校に周知していますが、高知県国際交流協会の多文化共生講座の活用についても、県教育委員会を通じて各校に周知するなど、教育委員会とも連携しながら、取組を進めていきます。	国際交流課 (高等学校課)
プランへの記載	山脇委員	市民活動団体の活動で多文化共生推進に係る役割があれば、プランへの位置付けが必要。	現時点では、把握できていないので、今後、多文化共生の取組を進める中で、市民団体の活動の把握にも努めていきたいと考えています。	国際交流課